

愛媛県立とべ動物園から マレーバクが来園します

令和元年 6 月 11 日(火)、よこはま動物園ズーラシアに愛媛県立とべ動物園からマレーバクのロコ(メス・9歳)が繁殖契約(※1)に基づき、来園します。
今後は、ロコの様子を観察しながら、展示・繁殖に取り組んでいきます。



来園するロコ(メス)

※1 繁殖契約(フリーディングローン)とは

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園ではこの契約に基づき動物を移動させることによって新たなペアを作り、繁殖に取り組んでいます。

当日の取材について

※動物の搬入当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

■今回来園する個体について

愛称：□□	平成 21 年 6 月 5 日 広島市安佐動物公園生まれ 令和元年 6 月 11 日 愛媛県立とべ動物園より来園 ※所有は広島市
-------	---

■マレーバクについて

和 名	マレーバク
英 名	Malayan Tapir
学 名	<i>Tapirus indicus</i>
分 類	奇蹄目 バク科
分 布	ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
生 態	現存するバク 4 種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことで知られています。他のバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴です。熱帯雨林の森の中で単独で生活していて、木の葉や草などをエサとしています。水辺を好み、泳ぎも巧みです。生息地の環境破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
国内飼育園館	12 園館 33 頭 (オス 21 頭、メス 12 頭) ※令和元年 5 月 9 日現在
当園飼育頭数	1 頭 (オス 1 頭) ※今回来園する個体を含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
 - ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
 - ◆休 園 日：毎週火曜日（祝・休日の場合は翌日）※臨時開園あり
 - ◆交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行き
バスで約 1 時間
 - ◆U R L：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
 - ◆住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1
 - ◆問合せ先：045-959-1000
- ※よこはま動物園ズーラシアは、2019 年 4 月 24 日に開園 20 周年を迎えました。